

## 第一回検討委員会の意見まとめ

項目	主な意見	対応	
計画地に求められる機能について	<p>「創造」機能の導入を目指すのであれば、市民ホールの再整備・アリーナの導入に合わせて、<b>市民による「創造」に適した小空間も必要となるのではないか。</b></p> <p><b>市民にとって心の拠り所やシンボルのような場所となることを期待している。歴史と文化の両立や、市民の思いを大切に検討を進めていただきたい。</b></p> <p><b>「鑑賞」型のスポーツ機能の導入は静岡市全体の賑わいの底上げにつながる</b>と考えている。</p> <p><b>敷地が狭く、歴史文化の観点から重要な場所に、大規模な施設を整備することに不安を感じる。</b> →「大規模集客機能」という表現については、取り扱いを検討する必要がある。</p> <p>文化とスポーツを並立して掲げているが、スポーツも文化に含まれるのではないだろうか。<b>「選ばれる施設」「稼げる施設」を目指すのであれば、スポーツ施設として位置付けない方が良いのではない</b>か。</p> <p><b>環境を意識した論点も加えていただきたい。</b></p>	整備方針の中で導入機能の記述方法等を検討	
論点と評価の視点について	<p>全般</p>	<p>検討対象地に<b>アリーナが技術的に導入可能か</b>を具体的に検討した上での判断を事務局から提案していただいた上で、本検討会で議論を行うことが必要ではないかと考えている。</p> <p>市民文化会館の再整備を通して新たな付加価値を生むという考え方に基づく、既存機能が失われる<b>ケース③</b>や現状維持に留まる<b>ケース④</b>は検討対象として不適切ではないか。<b>まずはケース②が技術的に敷地内に収まるか否かの検討を行うべきではないか。</b></p>	本日の「資料3 施設計画(案)」参照
	<p>論点3 稼げる施設／選ばれる施設</p>	<p>一体型ホールは中途半端になりがちであるという印象を持っている。ただし、ポップス仕様のホールとして整備を行い、<b>クラシックの興行はマリナートで実施するというようすみ分けを行うのであれば、ケース③のような一体型ホールも実現性がある</b>と考えている。</p> <p><b>適切な動線や稼げるスペースが確保され、利用料や広告料でも稼げるような施設機能でないと、民間の参入は期待しにくい。</b></p>	本日の「資料5 検討ケースの評価」参照
		<p><b>全国的には2,000席規模のホールが増えているが、それらの施設と比較すると、配置案の施設規模は小さすぎるように感じる。</b></p>	本日の「参考資料2 ホール・アリーナの近年事例の規模比較」参照
	<p>論点4 交通アクセス／駐車場</p>	<p>市民文化会館を静岡駅・中心市街地の回遊に取り込み、<b>駅から徒歩や自転車等で回遊してもらって視点が入っていないように感じる。</b>コミュニティサイクル等で回遊の利便性を高めるような取り組みの可能性もあるのではないかと考えている。</p> <p><b>駅やショッピングモールからのシャトルバスの運行、スマホアプリでの民間駐車場の予約システムの利用等</b>も含めて、提供サービスの在り方については検討を行う必要がある。</p>	本日の「資料6 施設へのアクセス性向上方策の検討」参照